



岸 高明の市議会だより

岸 高明の会 事務所 茅ヶ崎市新栄町7 - 1岸ビル6F

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/takaaki-kishi/>

総務常任委員

議会運営委員

務常任委員会視察から

総務常任委員会で、福井県敦賀市、石川県金沢市、新潟県安塚町の日本海側の異なる顔をした市を視察した。

滋賀県敦賀市では、議会放送を視察した。当市では昨年12月より、本議会をTV放送している。ニュースの様に議会の一部を放送するのではなく、専用の放送チャンネルを使いノーカットで生中継しています。再放送の時だけ、議事録と同内容に発言の取り消し箇所がカットなどしている。市民にとっては、家庭で気楽に本会議を傍聴でき、議会が身近になったようだ。

現在、茅ヶ崎市では本会議の様子は、本会議議事録を手にする以外に、「議会だより」出版物で、一部抜粋され記載されているのと、インターネットの茅ヶ崎市議会のホームページで、本会議議事録の全文閲覧が可能だ。

敦賀市がなぜTV生中継を先駆けたのか、可能であったのかという点である。

敦賀市は原子力発電所があり緊急放送設備として、何処にいても緊急警報が受信できるように駅前広場に大型スクリーンTV、商店街には街頭TVがいたる所に設置され、ほぼ全世帯に緊急時自動的に電源が入るケーブルTVが導入されている。そのTV環境を元に議会中継をしている訳である。

茅ヶ崎市議会には無いが、敦賀市本会議場には以前より監視用カメラが設置されておりその映像をTV放映したので、初期投資費用は870万円、年間ケーブルTV放送料は390万円と低く抑えられている様である。(ケーブルTV会社は市が出資)

放送時の各議員のカメラアングルを、いかに客観的に公平に撮影するか興味があったのだが、監視用カメラからの流用のため、発言者用にマイクスイッチを切り替えると、予め設定された議員席や演壇の位置に、カメラの向きとズームが移動し、バーストショットで撮影する案外シンプルなシステムある。カメラ移動中の余計な画像が映るとか

ある様だが、カメラマンの感情が入らず、淡々としたカメラワークで、これが逆に公平で、いいのではないと、私は納得です。

茅ヶ崎でも導入検討している。導入の長所と反面、CATVの普及率が違うための情報格差やカメラ設置や専用チャンネル保有など、高い費用負担を市民が納得できるかなど、十分慎重な検討が必要と思われる。インターネットTVなど他の方法も検討の必要があるだろう。

第三回茅ヶ崎市議会定例会から

決算特別委員会が開かれ、平成14年度の一般会計と特別会計(国民健康保険事業、下水道事業、老人保険医療事業、介護保険事業、公共用地先行取得事業)の歳入歳出決算が認定されました。

山梨県にある茅ヶ崎山荘が廃止されことになりました。施設利用者の減少に伴う判断で、現在利用中の教育団体には民宿村の利用と検討しています。

<補正予算の一部紹介>

政府の少子化対策である次世代育成支援対策法にもとづく子育て支援サービスの基礎資料作成のための、アンケート実施費用(835万円)

6月定例会で、私が一般質問の少子化対策で取り上げた内容の関連である。

総合体育館の壁面のタイルがはがれていますが、危険防止のため改修工事(7800万円)

小学校5校、中学2校の耐震設計(2710万円)

助役と収入役が選任されました。

助役 水野 南雄 (理事市民経済部長)

助役 熊沢 克躬 (理事総務部長)

収入役 森 睦夫 (理事防災安全部長)